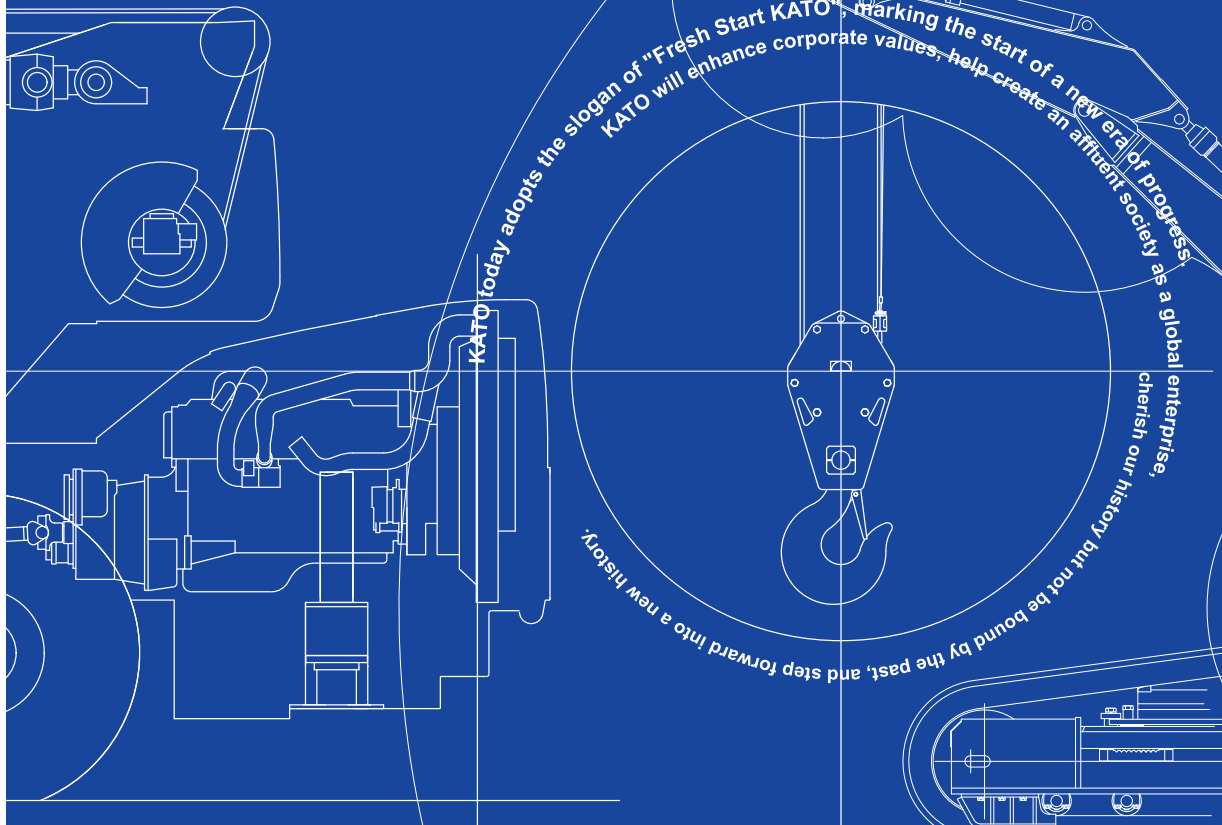


# KATO

"Today's dialogue leads to tomorrow's technology"



[www.kato-works.co.jp](http://www.kato-works.co.jp)

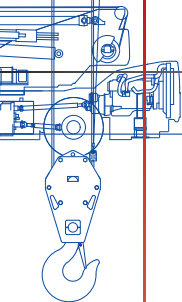
## KATO Report

第114期中間報告書

2012/4/1~2012/9/30

株式会社 加藤製作所

証券コード 6390



# Progress To The Next Stage

次なるステージに進化するため

あらゆる革新的な取り組みを実行し

企業価値の向上を目指し

世界的企業として豊かな社会作りに貢献します

## Contents

株主の皆様へ……………	2
連結決算の概要……………	3
トピックス……………	5
会社概要……………	6



平成24年12月

代表取締役社長 **加藤 公康**

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社第114期第2四半期の決算を行いましたので、その概況をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災からの復興需要にも支えられ、緩やかな回復傾向がみられましたものの、終盤には中国をはじめ周辺諸国との種々の問題から、経済面において減速感が増加してまいりました。また、米国景気や、欧州経済に対する不透明感から、引き続き円高・株安の状態が続くなど、総じて厳しい状況にて推移いたしました。

当社グループの事業環境は、中国での経済成長の鈍化とともに対日感情の悪化も重なり、油圧ショベル需要が前年同期に比べ40%程度低下するなど、極めて厳しい状況となりました。一方で、国内の建設用クレーン及び油圧ショベルにつきましては、東日本大震災の復興需要の下支えもあり、ようやく回復の兆しがみえてまいりました。このような状況下、当社グループは、積極的な営業活動を推進いたしましたものの、中国における急激な悪化と、小型機械に集中した建設用クレーン需要から、予想を下回る厳しい業績となりました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高253億4千9百万円（前年同期比100.6%）、営業利益は前年同期の12億4千2百万円から大きく減少し、3億8千4百万円（前年同期比31.0%）、経常利益2億4千9百万円（前年同期比20.7%）となり、四半期純利益は1億4百万円（前年同期比12.2%）となりました。

当社グループは、今後もコストダウン施策をさらに追求し、競争力を高め、収益向上に全力を注いでまいり所存でございます。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## 連結決算の概要

## 連結貸借対照表

[単位:百万円]

科 目	2011年度 (前 期 末) 2012年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間末 2012年9月30日現在	科 目	2011年度 (前 期 末) 2012年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間末 2012年9月30日現在
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>74,762</b>	<b>71,288</b>	<b>流動負債</b>	<b>37,363</b>	<b>35,917</b>
現金及び預金	13,858	11,922	支払手形及び買掛金	20,588	19,253
受取手形及び売掛金	37,150	34,150	短期借入金	9,605	9,605
たな卸資産	22,466	24,074	1年内返済予定の長期借入金	4,215	4,401
繰延税金資産	1,111	895	未払法人税等	147	46
その他	966	853	割賦販売前受利息	1,340	1,201
貸倒引当金	△790	△607	賞与引当金	446	434
<b>固定資産</b>	<b>11,413</b>	<b>11,352</b>	製品保証引当金	298	210
<b>有形固定資産</b>	<b>8,112</b>	<b>8,017</b>	その他	722	764
建物及び構築物	3,522	3,835	<b>固定負債</b>	<b>15,865</b>	<b>14,461</b>
機械装置及び運搬具	1,172	1,125	長期借入金	14,535	13,133
土地	2,744	2,744	退職給付引当金	730	719
建設仮勘定	499	132	役員退職慰労引当金	595	604
その他	174	180	その他	4	4
<b>無形固定資産</b>	<b>110</b>	<b>94</b>	<b>負債合計</b>	<b>53,228</b>	<b>50,379</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>3,191</b>	<b>3,241</b>	<b>純資産の部</b>		
投資有価証券	1,448	1,436	<b>株主資本</b>	<b>32,868</b>	<b>32,678</b>
破産更生債権等	1,069	1,047	資本金	2,935	2,935
繰延税金資産	538	616	資本剰余金	7,109	7,109
その他	1,204	1,225	利益剰余金	22,848	22,659
貸倒引当金	△1,069	△1,085	自己株式	△25	△26
<b>資産合計</b>	<b>86,176</b>	<b>82,641</b>	その他の包括利益累計額	79	△417
			その他有価証券評価差額金	42	30
			為替換算調整勘定	37	△447
			<b>純資産合計</b>	<b>32,947</b>	<b>32,261</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>86,176</b>	<b>82,641</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

[単位:百万円]

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2011年4月1日～ 2011年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2012年4月1日～ 2012年9月30日
売 上 高	25,205	25,349
売 上 原 価	21,500	22,500
売 上 総 利 益	3,704	2,848
販売費及び一般管理費	2,462	2,464
営 業 利 益	1,242	384
営業外収益	335	488
営業外費用	369	623
経 常 利 益	1,208	249
特 別 利 益	—	11
特 別 損 失	25	0
税金等調整前四半期純利益	1,182	260
法人税、住民税及び事業税	87	27
法 人 税 等 調 整 額	240	128
少数株主損益調整前四半期純利益	854	104
四 半 期 純 利 益	854	104

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

[単位:百万円]

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2011年4月1日～ 2011年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2012年4月1日～ 2012年9月30日
営 業 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	△267	159
投 資 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	△545	△345
財 務 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	2,774	△1,510
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△38	△239
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	1,923	△1,935
現金及び現金同等物の 期 首 残 高	12,860	13,858
現金及び現金同等物の 四 半 期 末 残 高	14,783	11,922

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 《最大せり上げ能力50t、KL-6000新発売》

多くのユーザーから開発を待ち望まれておりましたオールテレーンクレーンの分解、組立用の装置KL-6000、愛称E-Lifterを今年2月に発売し、ご好評をいただいております。

従来機に比べ「機体をコンパクト化」し、また車両の進入・退出は前後どちらからでも可能、狭い現場でも作業できると大変よろこばれております。

クレーンのブームや上物部分を保持する際、前後・左右・上下のアジャスト範囲が大きく位置合せが容易なため、当社製品はもちろん、他社製の多くのクレーンに対応が可能です。KL-6000は11tトラックで輸送ができ、また他の補助クレーンを必要とせず自力でトラックに積載できるなど機動性も向上いたしました。

当社はこれからもお客様のニーズにお応えし製品開発に努力を重ね、より良い製品提供をしてまいります。



## ■ 会社の概要 (2012年9月30日現在)

創 業	明治28年
会 社 設 立	昭和10年 1月
株 式	発行可能株式総数 234,000,000株 発行済株式総数 58,717,936株
資 本 金	2,935,896,800円
従 業 員 数	620名 (連結736名)
主 要 製 品	●荷役機械

ラフテレーンクレーン (ラフター®)  
 オールテレーンクレーン (オルター®)  
 〈全油圧式〉トラッククレーン  
 積載型クレーン (キャブバック®)  
 〈全油圧式〉クローラクレーン

## ●建設機械

〈全油圧式〉ショベル  
 アースドリル (シティドリル®)  
 全回転式ボーリングマシン

## ●路面清掃車等

〈真空吸込式〉高速路面清掃車  
 〈超真空式〉万能吸引車 (マルチバック®)  
 空港用除雪車 (スノースーパー)

## ■ 役員 (2012年9月30日現在)

代 表 取 締 役 会 長	加 藤 正 雄
代 表 取 締 役 社 長	加 藤 公 康
取 締 役 常 務 執 行 役 員	加 藤 籠 二
取 締 役 執 行 役 員	田 工 藤 和 博
取 締 役 執 行 役 員	米 村 史 博
取 締 役 執 行 役 員	岡 田 美 津 男
執 行 役 員	高 橋 啓 二
執 行 役 員	北 川 一 秋
執 行 役 員	石 丸 義 靖
執 行 役 員	柳 城 正 孝
執 行 役 員	村 上 正 博
執 行 役 員	小 西 二 樹
執 行 役 員	井 出 洋
執 行 役 員	白 雲 峰
常 勤 監 査 役	向 井 賢 一
常 勤 監 査 役	赤 神 茂
監 査 役	林 功
監 査 役	室 中 道 雄

(注) 監査役林 功および監査役室中道雄の両氏は、社外監査役であります。

## ■ 主要工場



茨城工場 (茨城県猿島郡五霞町)



群馬工場 (群馬県太田市)



加藤(中国)工程机械有限公司(中国江蘇省昆山市)

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告（ <a href="http://www.kato-works.co.jp/">http://www.kato-works.co.jp/</a> ） ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほインベスターズ証券 本店および全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗）  みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほインベスターズ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

※みずほインベスターズ証券は、2013（平成25）年1月4日以降はみずほ証券となります。

## ホームページのご案内

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様向けのIR情報をはじめ、最新の企業活動をお知らせするニュースリリースなど、様々な情報発信を行っております。

<http://www.kato-works.co.jp/>

